

「自ら考え、行動し、よりよく創り出す子ども」を目指して

第5・6合併号 平成23年3月



小中一貫教育
すすめています!

新泉・和泉地区

和泉中学校 新泉小学校 和泉小学校

小中一貫教育 ニュースレター

ひら たか つな 拓き・高め・繋がる 小中一貫教育

新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校は、今までの研究に積み重ねて、平成22年度も小中一貫教育の様々な取り組みを行ってきました。積み重ねてきた一つ一つが繋がり、平成27年4月開校予定の施設一体型小中一貫教育校の未来予想図が少しづつできあがりつつあります。

また、新泉・和泉の地域で育つ児童・生徒のために、小中一貫教育を推進することによって、3校の教職員が各校の垣根を取り払い、この地域で育つ子供たちに愛情を注いでいます。今後も新たな進化を見せる小中一貫教育に、ぜひ期待してください。

vol.5.6

教師のつぶやき

高校受験という大きな壁がある。楽しく学習していくも、できるようにならなくては、どうしようもない。

同じ小学校から進学してきても学級が違うとルールが違うので最初は指導を徹底するのが大変だ。

せめて、かけ算九九ぐらいは、できるようにしておいてほしいのに…

中学校の生活指導ってどうして管理的なんだろう。もっと子どもたちを進んで表現してきたのに…

小学校では考えさせる授業をやつてきたのに、中学校では一方的に教え込む授業になっている。

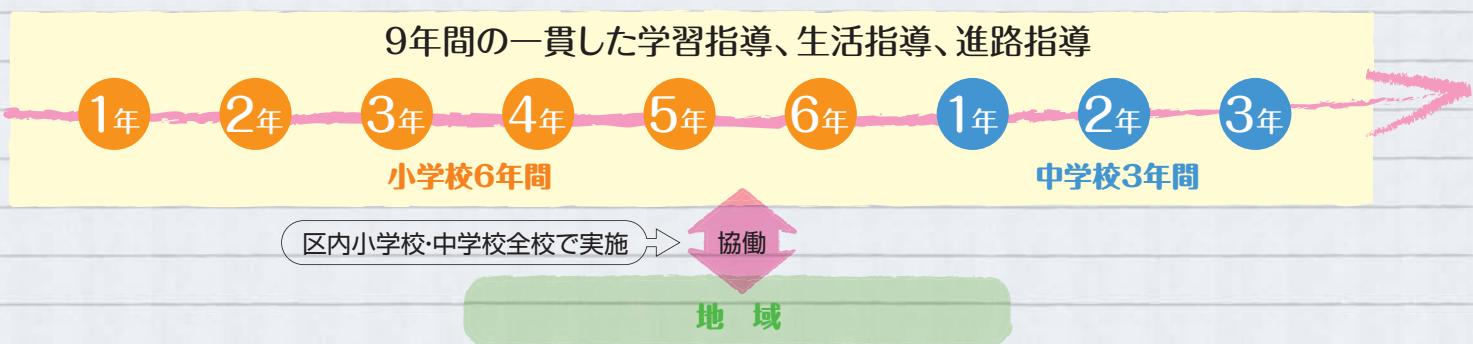


指導観・学力観 児童・生徒観の違い



小中一貫教育とは

小学校・中学校間に存在する指導観や学力観などの違いを取り除き、義務教育9年間を通して人間形成を図る教育のことです。



新泉・和泉地区 小中一貫教育が目指す目標

平成23年度基本方針

- すべての教科での小中学校教員の交流および指導と生きる力・学力の向上。
- 学びの意欲と質を高める小中学校教員の指導連携。
- 小学校5・6年生での教科担任制の推進。
- 一部の共通した教育課程の実施による学びの共有化。
- キャリア教育および生活指導の共通化。
- 児童生徒の交流による、よりよい理解。

和泉中学校

魅力ある中学校

- 質の高い授業
- 個に応じた指導
- 確かな進路保障
- 部活の活性化 等

連携・交流

新泉小学校

中学校への確かな力と夢をはぐくむ学校

- 質の高い授業
- 理数・英語教育
- 読書活動の充実 等

和泉小学校

- 質の高い授業
- 理数・英語教育
- 読書活動の充実 等



国語・読書部会

実践

読書活動の充実をねらい 小中一貫のおすすめ本リストを作成しました。

小中一貫おすすめ本リストを検討し、各学年6冊程度の本を決定しました。そして、おすすめ本リスト(新泉小・和泉小・和泉中)を作成し、児童・生徒に配布しました。小学校においては、学校司書がおすすめ本をブックトークで紹介しました。実際の授業では、リストの記入欄の説明をした後、各自読みたい本から読むよう指導しました。また、本を読み終えた時に、その時の気持ちを書き留めておき、読書に



小学校3年生おすすめ本読書

関する自分の記録になるよう指導しました。中学校では、国語科教諭が冊子を基に本の紹介をしました。

おすすめ本の感想

私はいくら何でもあみもので作った飛行機なんか飛ぶわけはないだろうと思ったけど、お話の中では本当に飛んでいたのであみものが名人なおばあさんは、うらやましいと思いました。
(4年生「おばあさんのひこうき」)



中学1年生朝読書

成果

自分の好みの本に偏っていたり、何を読んでいいのか分からなかったりしていた児童・生徒がおすすめ本リストから選び読もうとしていた。低学年の児童は、たくさん読んでリストの感想に書きたいという意欲が高く、おすすめ本リストを十分に活用していた。

課題

学校から家庭へおすすめ本を紹介し、家庭でも活用してもらえるようにする。また、家庭からの感想があればまとめ、おすすめ本を通して学校と家庭が連携して様々な交流を試みていきたい。



社会・キャリア教育部会

実践

歴史教育の小中連携

和泉中学校 6月10日

小学校で学んだ平安時代に活躍した人物について振り返ることにより、その時代の背景についての興味を喚起させる授業展開を行いました。



平安時代(和泉中1年)

地図帳は地図の宝箱

新泉小学校 9月27日

地図帳に親しみをもたせ、中学での地理の学習につなげることをねらって、中学校の社会科教諭による小学校4年生の地図帳の学習を行いました。



地図帳の活用(新泉小4年)

小中一貫キーワード

3年生：8方位の習得

4年生：地図帳の活用

5年生：都道府県の確実な習得

6年生：歴史上の人物ノートの作成



中学校：既習事項の有効な活用

成果

和泉小学校、新泉小学校に社会専科教諭が配置され、より専門的な授業内容に取り組むことができたこと。

「とびだせ!がってん」プロジェクト 和泉小学校 12月14日

和泉小学校の6年生が、会社組織を立ち上げ、市場調査を通して商品を開発し販売を体験しました。500円(商品の価格)の重みを改めて感じた子や、社長という責任ある仕事にやりがいを感じた子もいました。来年度この実践は、和泉中学校で継続して取り組む予定です。



商品販売(和泉小6年)

課題

小中一貫キーワードの内容のさらなる定着を図り、中学校への連続性のある学びの構築をしていきたい。

実践

育てたい力は 基礎基本の確実な定着そして、問題解決型授業を通した思考力・判断力・表現力の育成

- 『夏休みの学習教室』や『基礎の時間』を通して、基礎・基本の確実な定着に取り組みました。
- 問題解決型学習を通して、子どもたちの数学的考え方の力を伸ばしてきました。
- 年間4回の研究授業をお互い見あうこと で、小中9年間のカリキュラムを見通すこ とができました。



「面積」和泉小5年

子どもの感想

・『基礎の時間』では、自分のペースで何問も何問も解いていくので、自然と計算力がつきます。また、小学校の先生もいるのでしっかり教えてもらえて良いと思います。(中1)
 ・夏休みの学習教室で、小学校の先生が来てくださることは、とても嬉しかったです。なぜなら、小学校のころから打ち解けている先生なので、変に緊張することなくすぐに質問できるからです。(中1)



「起きりうる場合」新泉小6年

成 果

- 小学校と中学校の授業をお互い参観すことにより、9年間の学びを意識して、授業ができるようになってきた。
- 各学年の基礎的な内容を確実に身につけることができた。

課 題

- 引き続き、小中9年間の学びの連続性を意識した授業を実践すること。
- 思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を工夫した授業を実践すること。

理科部会

実践

小中学校の理科専科教員が協力して、夏休みおもしろ実験教室を開催しました。

- 実施日:平成22年8月5日(木)6日(金)
 (小学校3・4年生 9:00~11:00)
 (小学校5・6年生、中学生 13:00~15:00)
- 場所:和泉中学校理科室&校庭
- 実施人数と内容:
 ・小学校3・4年生／35名
 葉脈づくり・はずむシャボン玉
 ・小学校5・6年生、中学生／15名
 ペットボトルロケット



はずむシャボン玉

子どもの感想

・葉脈がとてもきれいにできたから、うれしかった。また参加したい。
 ・シャボン玉の実験では、28回もはずませられてよかったです。
 ・ペットボトルロケットを作るのがおもしろかったです。羽をつけると安定してまっすぐ飛んだが、羽をつけないとぐるぐると回りながらいろいろな方向へ飛んでいくことがわかった。



葉脈づくり



ペットボトルロケット

成 果

実施後のアンケートで、参加者50名全員が楽しかったと答えている。(次回も参加したいと希望した児童は、小学校3・4年生は68%、小学校5・6年生と中学生は80%であった。)実験内容を工夫しスムーズに指導ができるように何回も打ち合わせを行ったことで、児童・生徒が意欲的に取り組むことができた。

課 題

来年度は児童・生徒がより楽しめ、科学的な思考が深まるような実験を工夫して行っていきたい。